

日本フットボール学会会員各位

平素より日本フットボール学会の活動にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。
2016年度第1回研究会を下記のように開催致しますので、ご案内申し上げます。

本学会では国際（英文）学術誌である「Football Science」を2004年9月よりオンラインジャーナルとしてスタートしました。この学術誌では、Footballに関する学術的情報をネットワーク上で共有して、世界中に発信していくことをねらいとしており、これまでに多くの論文が掲載されてきました。

さらに、今後も会員の皆様から多くの論文を投稿していただくことを目的とし、今回はPaul Clark氏をお招きして「英語論文における効果的な意思伝達」というテーマの研究会を企画しました。

テーマ：「英語論文における効果的な意思伝達：それは文法や語彙力の問題ではありません。」

「Effective Communication in Written English: It's More than Grammar and Vocabulary.」

講師：Paul Clark氏（ウェストテキサス A & M 大学 教授、立教大学 フルブライト交換教授）

通訳：舘野正美（日本大学 文理学部）

日時：2016年6月25日（土）13：00～15：00

会場：立教大学 池袋キャンパス

※フットボール学会会員限定であり、参加費は無料です。参加希望者は時間前に直接会場へお越し下さい。

概略：「世界中の多くの人々が英語を学び、上手な英会話のやり方を身に付けます。しかし、英語で文章を書くことは、特に学問的な分野において、英会話とは全く別物です。英語で文章を書くことは、厳密な形式があり、整然と組み立てられた議論と思考の論理的な表現によってもたらされるものです。明確な文章表現は極めて重要であり、反対に曖昧なものは表現力が低いと見なされます。この講座では、英語を母国語とする人物がその思考を文章化する過程をご紹介します、併せて、明快で簡潔な学術論文を作成するやり方をご披露します。」

概略の原文：

Synopsis: 「Hundreds of millions of people around the world study English and have found ways to effectively communicate orally. Written English, however is different from spoken English--particularly in the scholarly realm. Written English is very formal and relies on linear argumentation and the logical presentation of ideas. Clarity is very highly valued and opacity is considered poor writing. This presentation will introduce some of the ways native English speakers order their thoughts in the written form and provide some templates for clear and concise academic writing.」

*2016年度は3回研究会の開催を予定しております。詳細は決まり次第ご案内申し上げます。